

2016 年度が始まりました。どうぞよろしくお願いします。

田丸 あけみ

3月末に、32名の子ども達が元気にアトムを巣立っていきました。

そして、今年度は、17名の新しい子ども達がアトムに入園し、141名の子ども達と職員40名でスタートしました。

新しく入園される方は、我が子が保育園で泣く姿を見て、不安でいっぱいになる方もおられると思いますが、子ども達は、少しずつ園生活に慣れていきますので、長い目で見守ってあげて下さい。

私は、新年度が始まるにあたり、保護者の方に伝えたい事が二つあります。

一つ目は、“子育て仲間を保育園で作って下さい”という事です。

乳幼児期の子育ては、喜びや楽しさも、もちろんありますが、しんどさを感じる事の方が多き時期です。だからこそ、この時期を孤独に子育てするのではなく、助け合いがで、しんどさを吐き出し合える子育て仲間を作ってほしいと思っています。

子育て仲間の存在は、保護者だけではなく、子どもにとっても“色々な大人に見守られながら育つ”事に繋がります。子どもにとって、色々な人との出会いは、とても貴重な体験であり、育ちの中で、必要不可欠な事だと感じています。“一人で子育てできっこない”のです。子ども達が仲間を作っていくように保護者の皆さんも仲間を作して下さい。

少し私事になりますが、私の娘は4月から、中学一年生になりました。乳幼児期はアトムで過ごし、小学校からは引っ越しして和泉市で過ごしました。中学校は再び熊取町に戻り生活する事になり、アトムで共に過ごしてきた仲間と再会できる事を、親子共々嬉しく思っています。乳幼児期を一緒に過ごしてきた仲間は、何年経っても気楽に話ができる存在です。何かあった時、相談できる人がいる事は、思春期の娘をもつ親子にとっては、嬉しく安心できる事です。今から迎える思春期という荒波を皆の力をかりながら、私自身も進んでいきたいと思ひます。

そして、もう一つは、我が子の気質を知るといふ事です。娘の気質も、アトムで過ごしている時と変わらず今も、持ち続けています。本人は、強がってみたり、隠しているつもりでも、親から見れば、根っこにある気質は幼少期から変わらないと実感する事が度々あります。保育園時代は、“自分”をありのままに表現してくれる子ども達です。園生活で、我が子の気質を掴んであげて下さい。特に、困った時や悩んでいる時、しんどくなっている時は、どんな表現をする子なのか？を理解する事は、子どものサインを掴んであげる事に繋がっていきます。それは、親だけではなく、周りにいる大人も一緒に子ども理解をしていくことが、より子ども自身が大人の温かいまなざしの中で、安心して育っていける事に繋がっていくと思うのです。

そして、大人同士も一緒に育ち合いあいましょう。一年間どうぞよろしくお願いします。

- 年度末、年度当初、家庭保育のご協力をしていただいた保護者の方々ありがとうございました。
- 卒園児（元5歳児）保護者企画による謝恩会での残金「10196円」と2015年度のおやじ会より「10100円」を寄付していただきました。ありがとうございました。